

この説明書は、左側の図を参照しながらお読みください。

When reading this instruction manual please keep the watch diagram at left folded out and in view.

*モデルによってはデザインの異なるものがあります。

*The design may differ slightly depending on the model.

■安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人の危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

目 次

1. 商品の特長	4
2. 各部の名称	5
3. モード（機能）の切り替え	6
4. EL内部照明機能について	7
5. 時刻／カレンダーの合わせ方【TIME】	8
6. アラーム1・2の使い方【ALM1／ALM2】	10
7. クロノグラフの使い方【CHR】	12
8. タイマーの使い方【TMR】	14
9. 電池寿命が近づいたら	16
10. オールリセット操作について	17
11. お取り扱いにあたって	18
12. 製品仕様	25
13. 保証とアフターサービスについて	26
14. シチズンサービスセンター所在地	28

1. 商品の特長

この時計は、暗い場所でも表示が見えるEL(エレクトロルミネッセンス)内部照明機能を持ったコンビネーションクオーツ時計です。

2. 各部の名称

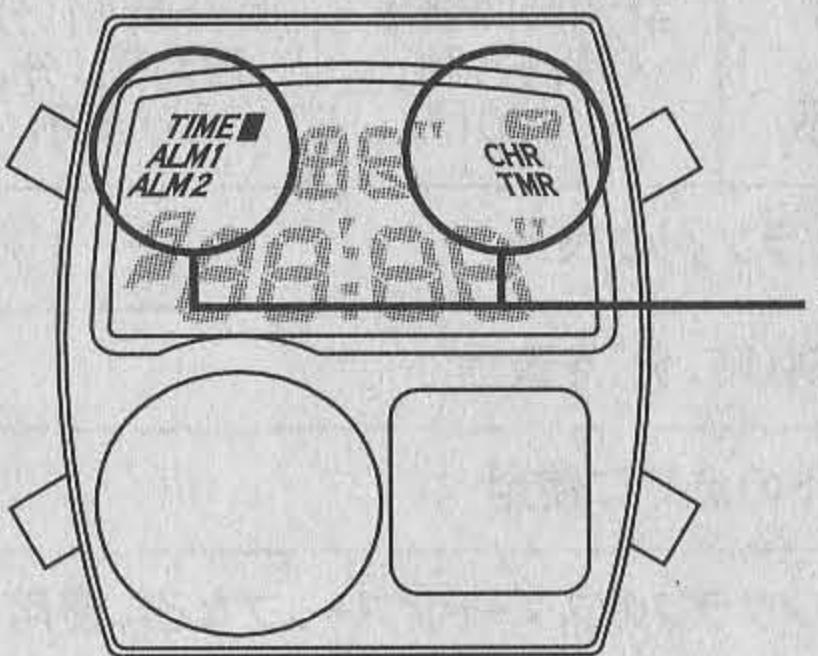
巻頭見開きのイラストと照らし合させてご覧ください。

名称	時刻・カレンダーモード	アラーム1/2モード	クロノグラフモード	タイマーモード
モード表示	TIME	ALM1/ALM2	CHR	TMR
デジタル表示部	時、分、秒または 月、日、曜表示	セット時間 (時、分)、 ON/OFF表示	計測時間表示 (時、分、秒、 1/100秒)	セット時間(分) 残時間(分、 秒)表示
グラフィック表示部	常にグラフィック表示			
アナログ表示部	常に時刻(時、分)を表示			
Ⓐボタン	ELライトの点灯に使用			
Ⓑボタン	時刻・カレンダーの修正やクロノグラフのスタート/ストップなどに使用			
Ⓒボタン	修正箇所の切り替えやクロノグラフのスプリット/リセットなどに使用			
Ⓜボタン	モードの切り替えなどに使用			

3. モード(機能)の切り替え

この時計は、時刻／カレンダーの他に、アラーム1、アラーム2、クロノグラフ、タイマー、の4つのモード(機能)を持っています。

Ⓐボタンを押す毎に、【TIME】→【ALM1】→【ALM2】→【CHR】→【TMR】の順にモードが切り替わります。



- TIME: 時刻／カレンダー
- ALM1: アラーム1
- ALM2: アラーム2
- CHR: クロノグラフ
- TMR: タイマー

・アラーム1、アラーム2モードで2~3分間放置すると自動的に通常時刻【TIME】モードに戻ります。

4. EL内部照明機能について

<点灯方法>

Ⓐボタンを押している間、EL照明が点灯します。

<ELとは>

電界発光とも言い、電圧をかけると発光する物理的な特性をもっています。この時計は、EL物質をパネルにし、発光させる方式を採用しています。

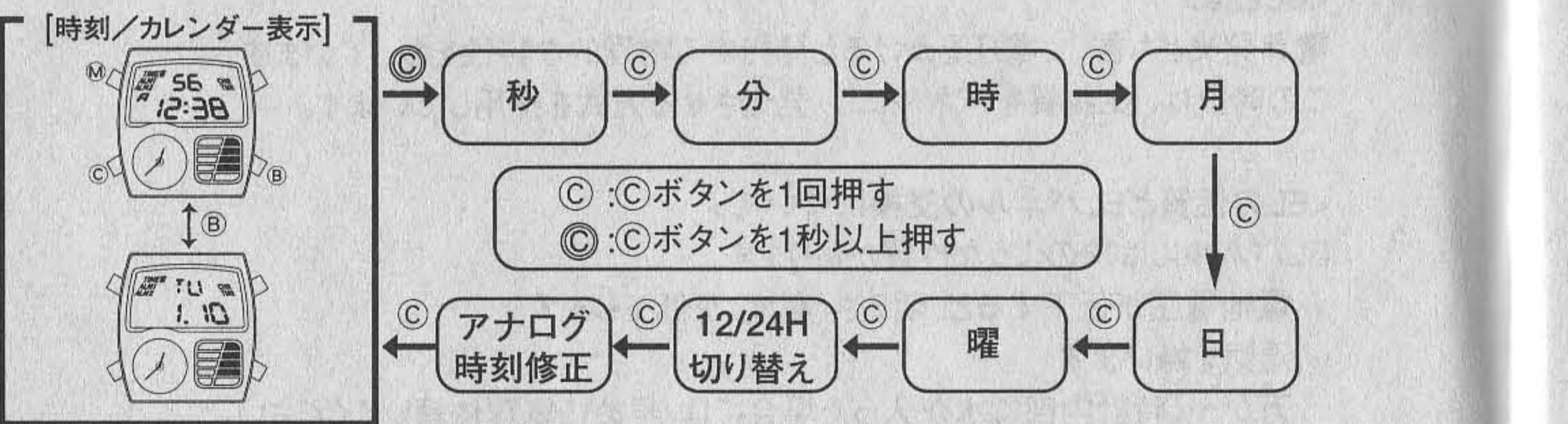
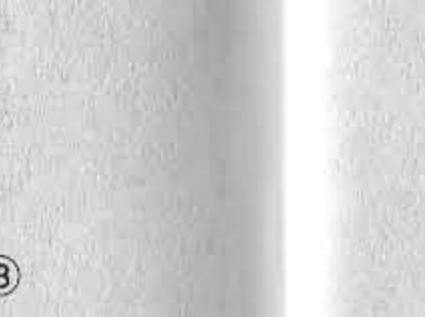
<ELの性質とELパネルの交換について>

ELパネルには次のような性質があります。

- ・電池電圧が低下すると、明るさ(輝度)が低下します。
- ・湿気を嫌います
万が一、時計内部に水が入った場合には、早めに修理依頼してください。
- ・ELの使用時間(発光させた時間)の累積により明るさ(輝度)が低下します。
点灯させたときに表示が暗くなり、見にくくなりましたら、ELパネルの交換修理をお買上店、またはシチズンサービスセンターにご依頼ください。有償にてお受け致します。

5. 時刻／カレンダーの合わせ方【TIME】

アナログ、デジタルともに時刻合わせはこの【TIME】モードで行います。アナログ時刻とデジタル時刻は単独にセットできますのでデュアルタイムとして使うことができます。



<表示の切り替え>

④ボタンを押すと時刻表示 ⇄ カレンダー表示が切り替わります。

<秒の合わせ方>

- 1) 時刻／カレンダーモードで④ボタンを1秒以上押し続けると、秒が点滅し修正状態になります。
- 2) 秒が点滅している時に④ボタンを押すと、00秒に戻りスタートします。

<時刻／カレンダーの合わせ方>

- 1) 修正状態(秒が点滅)の時、④ボタンを押す毎に左図のように点滅箇所が替わりますので、修正したい箇所を点滅させます。
- 2) ④ボタンを押して修正します。(押し続けると早送りします。)
 - ・12/24H制は、④ボタンを押す毎に切り替わります。
 - ・アナログ時刻の修正は“アナログ時刻修正マーク”が点灯し、デジタル時刻全体が点滅しているときに④ボタンで正転修正できます。
- 3) 最後に④ボタンまたは⑤ボタンを押して完了です。

- ・12時間制のときは、AM/PMに注意してください。
- ・カレンダーは月末自動修正の為、修正の必要はありません。但し、うるう年の2月だけは月末修正が必要です。
- ・修正(点滅)状態で2~3分間放置すると自動的に通常表示に戻ります。
- ・修正状態で⑤ボタンを押すとすぐに通常表示に戻ります。
- ・非存日(例えば、2月30日)に合わせた場合は、通常表示に戻すと自動的に翌月の1日を表示します。

6. アラーム1・2の使い方【ALM1／ALM2】

アラーム1とアラーム2は鳴り音が異なるだけで、アラームのセットなどの操作は全て同じです。

このアラームは、一度セット(ON)すると解除(OFF)しないかぎり毎日同じ時刻にアラーム音が鳴ります。

[アラーム通常(ON)表示]

ONまたはOFF



アラームセット時刻
(時、分)

<セットの仕方>

- 1) ④ボタンを押して、【ALM1】または【ALM2】モードにします。
- 2) ③ボタンを押すと“時”が点滅します。この時、②ボタンを押して“時”を修正します。(②ボタンは押し続けると早送りします)
- 3) “時”が点滅している状態で③ボタンを押すと“分”が点滅しますので、②ボタンで修正します。
- 4) 再度③ボタンを押して点滅表示(修正状態)を解除してセット完了です。

- ・アラームモードで②ボタンを押し続けている間、アラーム音を鳴らすことができます。(アラーム音モニター)
- ・時刻モードが12時間制表示の時は、アラーム時刻も12時間制表示となりますのでAM／PMに注意してください。

<アラームのON／OFF>

アラーム通常表示で②ボタンを押す毎にON／OFFを切り替えることができます。

<アラームの鳴り時間とアラームの止め方>

アラームの鳴り時間は20秒間です。どのボタンを押してもアラームは鳴り止みます。

7. クロノグラフの使い方【CHR】

このクロノグラフは1/100秒単位(60分以降は秒単位)で最大23時間59分59秒までの計測表示ができます。24時間計測終了後はリセット状態に戻り停止します。また、スプリットタイム(途中経過時間)の計測もできます。



〈計測中の時計の表示〉

〈59分59秒99まで〉

“分・秒・1/100秒”表示

1/100秒 ————— |
分 - 3'7" 1'2" 秒

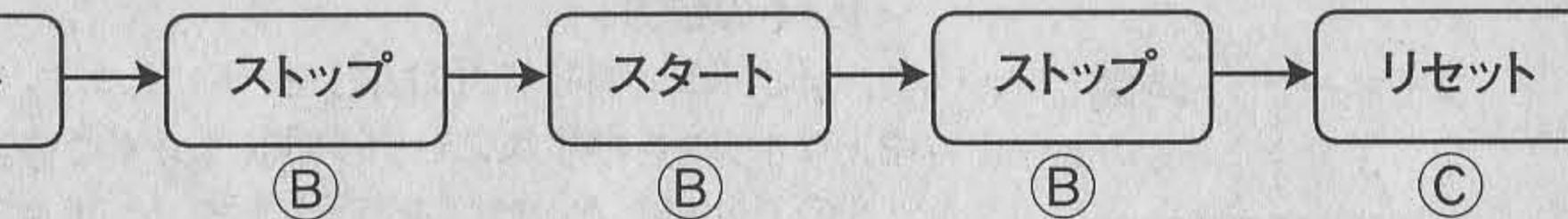
〈1時間～23時間59分59秒まで〉

“時・分・秒”表示

45" 秒
時 - 2:06 分

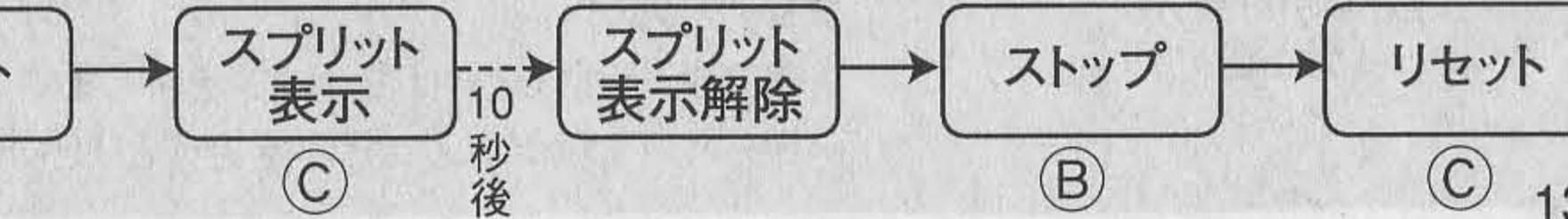
〈積算計測の仕方〉

- 1) Mボタンを押して、【CHR】モードにします。
- 2) クロノグラフのスタート／ストップはBボタンで行います。(Bボタンを繰り返し押すことで、何度でもスタート↔ストップを繰り返すことができます。)
- 3) ストップしている時にCボタンを押すとリセットします。



〈スプリット計測の仕方〉

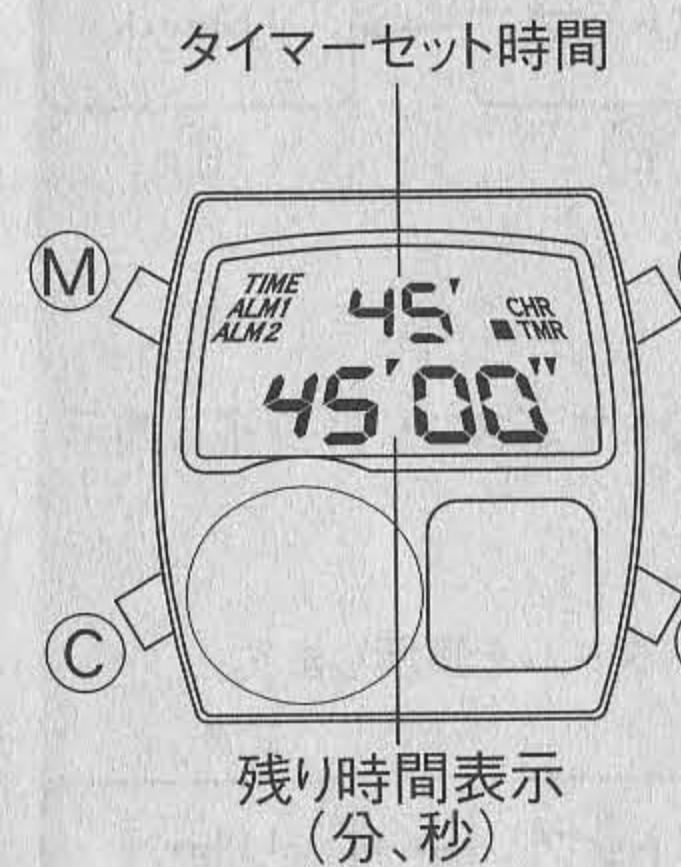
- 1) スタート／ストップはBボタンで行います。
- 2) 計測中にCボタンを押すと約10秒間スプリットタイムを表示します。(スプリットタイム表示中は“SPL”が点滅表示します。)
 - ・スプリットタイムは何度でも計測表示できます。
 - ・スプリットタイム表示中でもCボタンを押すと次のスプリットタイムを表示します。
- 3) ストップしている時にCボタンを押すとリセットします。



8. タイマーの使い方【TMR】

● タイマーは1分単位で、最大99分まで設定できます。タイマー終了時に約5秒間タイムアップ音が鳴ります。また、タイムアップと同時に自動的にクロノグラフ計測に切り替わるオートクロノ機能がついています。

<セットの仕方>



- 1) Mボタンを押して、【TMR】モードにします。
- 2) Cボタンを押す毎にセット時間を1分ずつ修正できますのでセットしたい時間を表示します。(Cボタンは押し続けると早送りします。)

<タイマーの使い方>

タイマーとオートクロノの操作は同じです。

- 1) Bボタンを押すとタイマーセット時間からタイマーがスタートします。
- 2) タイマーまたはオートクロノ作動中にBボタンを押すとストップします。
・再スタートするときはBボタンを押します。
- 3) ストップしている時にCボタンを押すとリセットされます。

<タイムアップ予告音ON/OFF機能>

この時計はタイムアップ予告音のON/OFF切り替えができます。

タイムアップ予告音をONにするとタイマーの残り時間が5、4、3、2、1分と50、40、30、20、10、9、8、……、3、2、1秒のときにタイムアップの予告音が鳴ります。

タイムアップ予告音のON/OFF切り替えは、Ⓐボタンを押しながらⒷボタンを押します。

タイムアップ予告音がONのときはタイマーモードマークが点滅します。

<タイマーやり直し機能>

タイマー作動中、またはオートクロノ計測中にCボタンを押すと、セット時間に戻り自動的に再スタートします。

9. 電池寿命が近づいたら

この時計にはマイコンICが使われています。

マイコンICを使用した時計は電池寿命が近づくと、異常な表示や動作(表示しない、アラームが鳴り続けるなど)をすることがあります、これは時計の故障ではありません。

時計を正しく動かすのに必要な電池電圧以下になると時計内のマイコンICが正常に動作しなくなるためです。

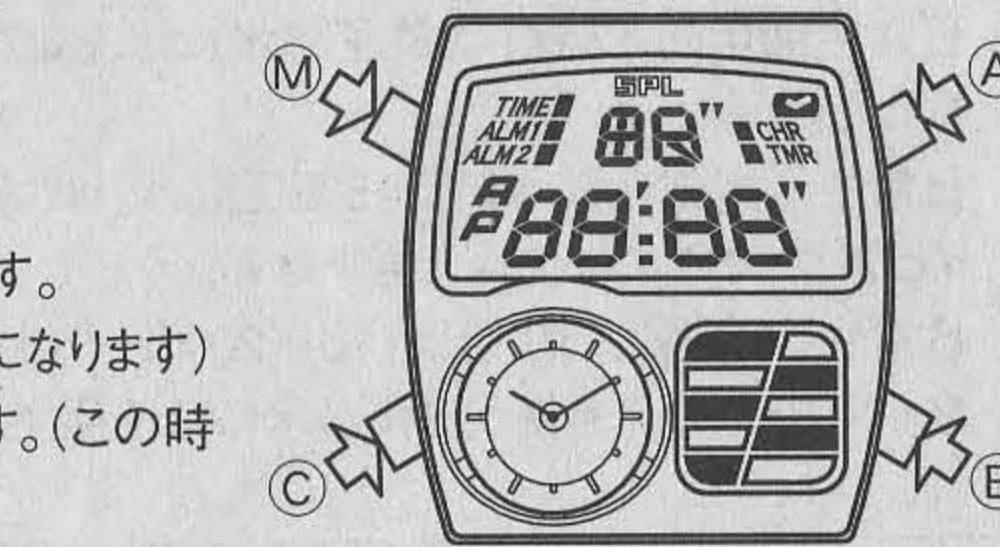
このような場合は新しい電池に交換してください。

10. オールリセット操作について

電池交換をした後や、強い衝撃で時計が異常な表示や動作をしたとき(表示しない、アラームが鳴り続けるなど)は、次のオールリセット操作を行ってください。

<オールリセット操作>

- 1) ④(A)、⑤(B)、⑥(C)、⑦(M)のボタンを4つ同時に押します。
- 2) ボタンを離します。(すべてが表示された状態になります)
- 3) ④(A)、⑤(B)、⑥(C)、⑦(M)のいずれかのボタンを押します。(この時確認音が鳴ります。)



これで、オールリセット操作は終了です。

各モードを正しく合わせ直してご使用ください。

11. お取り扱いにあたって

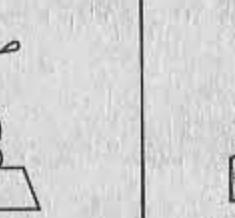
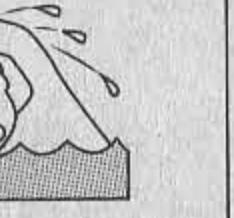
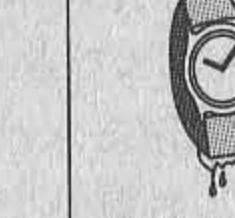
⚠ 警告 防水性能について

- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10／20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スクuba潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

表示		仕様
文字板	ケース(裏ぶた)	
無表示	WATER RESIST(ANT)	3気圧防水
WATER RESIST 5bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 5bar	5気圧防水
WATER RESIST 10/20bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 10bar/20bar	10気圧防水 20気圧防水

防水性について

- ・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用下さい。

使 用 例				
				
水のかかる程度の 使用。(洗顔、雨等)	水仕事や、一般水泳 に使用。	スキンダイビング、マ リンスポーツに使用。	空気ボンベを使用す るスキューバ潜水に 使用。	水滴がついた状態で のボタンの操作。
<input type="circle"/>	<input type="times"/>	<input type="times"/>	<input type="times"/>	<input type="times"/>
<input type="circle"/>	<input type="circle"/>	<input type="times"/>	<input type="times"/>	<input type="times"/>
<input type="circle"/>	<input type="circle"/>	<input type="circle"/>	<input type="times"/>	<input type="times"/>

⚠ 注意

- ・水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
- ・水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- ・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、また、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、シチズンサービスセンターへ修理、点検を依頼して下さい。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じことがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

かぶれの原因は

1. 金属、皮革アレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
 - ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
 - ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

<時計のお手入れ方法>

- ・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- ・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- ・プラスチック／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。

*溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

⚠ 注意 携帯時の注意

- ・幼児を抱くときは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

⚠ 注意 バンドのお取り扱いについて

・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがあるのでご注意ください。

⚠ 注意 夜光について

・自発光塗料を使用している時計の場合は、その夜光塗料に使用されている放射線物質は法定で許容される範囲内であり、しかもガラスで保護されていますので問題ありません。しかしガラスが割れた場合には、夜光に手で触れたりせずに、ただちにお買い上げの時計店、または当社サービスセンターへお持ちください。
なお、自発光塗料を使用している時計は、文字板面にP-Japan-pと印刷されています。

温度について

・0°C～+55°Cから外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。
・常温(5°C～35°C)から外れた温度下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりする所以ありますのでご注意ください。

磁気について

・磁石には近づけないでください。
磁気健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア・バックの止め具など、磁気に近づけると時刻が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正をし直してください。

静電気について

・クオーツウォッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

ショックについて

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

化学薬品・ガス・水銀について

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。
シンナー・ベンジンなどの各種溶液剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について

・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、電池寿命切れの電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。

⚠ 警告 電池の取り扱いについて

- ・幼児の手が届かないところに置いてください。誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。

⚠ 注意 電池交換について

- ・電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液などにより故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- ・電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

12. 製品仕様

1. キャリバーNo. C351
2. 型式 コンビネーション(アナログ+デジタル)水晶時計
3. 時間精度 平均月差±30秒以内 常温(5°C~35°C/41°F~95°F)携帯時
4. 作動温度範囲 .. 0°C~55°C / 32°F~131°F
5. 表示機能 アナログ部: ・時、分
デジタル部: ・時刻／カレンダー:時、分、秒、月、日、曜
・アラーム1・2
・クロノグラフ:24時間計(60分未満:1/100秒単位)、スプリット計測
・タイマー:99分計(1分単位)、オートクロノグラフ機能(24時間計)、タイムアップ予告音機能
6. 付加機能. EL内部照明機能
7. 使用電池 電池番号 280-44、電池コード SR927W
8. 電池寿命 約2年 (アラーム音40秒/日、タイマータイムアップ音5秒/日、EL照明3秒/日の場合)

注意)

電池寿命は新電池組み込み後、普通使用状態(上記の使用条件)で約2年間安定した精度を維持します。但し、アラーム、クロノグラフ、EL照明などの使用頻度によって電池寿命は異なります。

上記の製品使用は、改良のため予告なく変更することがあります。

13. 保証とアフターサービスについて

1. 保証について

保証期間内に、取扱証明書にそった正常なご使用状態で、万一故障が生じたときは、保証書に従い無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しています。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタンなどの外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 修理可能期間について

当社の修理用部品は保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居、ご贈答の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。

5. 定期点検について

- ・安全に永くご使用いただくために、2~3年に一度の定期点検を行ってください。
- ・防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。
- ・部品交換の際は、純正部品をご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または、シチズンサービスセンターにご相談ください。

6. 電池について

- ・お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。

※電池寿命が切れた場合は、保証期間内であっても電池交換は有料となります。

7. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明の点がございましたら、お買上店、または最寄りのシチズンサービスセンターにご相談ください。